

◆ 精神的な余裕をもって本番に臨めたようです

◇Sさん◇

合格しました。ありがとうございます。青学の説明会の時、校門前でパンフレットをいただき、良かったと思っております。

2月2日の試験の時、試験問題を見ると「ぴったりテスト」という文字が書かれていないだけで、青学進学研究会のぴったりテストと同じ表紙に心が落ちつき、とてもリラックスしてテストを受けることができましたようです。試験終了後には「ぴったりテストと同じ感じにできたけど、問題はぴったりより少し難しかった」と申しておりました。

添削課題の講評では「字をもっと丁寧に書くように」と指摘していただき、それ以降は丁寧に書くよう注意するようになりました。また、国語ができない理由は、言葉の知識の不足からくるのだというアドバイスもいただき、四字熟語、慣用句、ことわざなど、言葉の知識に関する本をよく見ておりました。

そして一月中旬には「最後の急坂を駆け上がる君へ」というお手紙をいただき、気合を入れるため何度も読んでおりました。リラックスして楽しく青学を受験できたのもASKさんのおかげです。有難うございました。

◆ 分かりやすい解説が弱点補強に役立ちました

◇Oさん◇

[ご本人] 苦手な算数をこの教材でやり、詳しい解説やアドバイスをいただき、自信にもつながり大変良かったです。国語も問題に関係する知識と考え方が記されており、記述の書き方、キーワードの見つけ方などもしっかり解説されていて大いに役に立ちました。問題形式・解答用紙も実際のテストとほぼ同じで、いつも通りに解くことができました。社会・理科は青学の場合、時間が短いので時間配分の練習にもなり、できなかったところも、わかりやすい解説があり弱点補強をすることができました。来年青学を目指す人にもこの青学合格プログラムを使い、自分の弱点をこくふくして、青学合格に向けてがんばってほしいです。合格後に送られてきた図書カードプレゼントはうれしくて青学合格を実感できると思うので、これからも続けてほしいです。

[お母様] 塾での学習と並行して、過去問題集をやる自宅学習を行っていました。第一志望の青山学院の説明会のとき、校門前で貴会のパンフレットをいただき、青学に合格するために少しでも子供のためになるのならと、考え、申し込みました。

手頃な受講費用で、添削課題と研究された予想問題も経験できるということで、本人にとって非常に効果的だったと思います。ありがとうございました。添削からはじまり、激励のメッセージやアンケートにいたるまで、最後まで面倒をみていただき感謝しております。

◆ 直前に何回もくり返し「添削課題」を解きました

◇Oさん◇

いよいよ最後の入試直前の日々は、何をしようのかわからず不安がつのり始めていました。しかし、直前に何回もくり返し「添削課題」を解いて、自信をつけたようです。ありがとうございました。

◆ 過去問と“未来問”がミラクルを生みました

◇Kさん◇

お世話になりました。塾では「ミラクル」と言われていた青山学院中部部に合格できたのはASKのお陰かも知れません。

大手の塾では専門の対策クラスや講座が意外と少ない青学。ただ過去問をやるだけでは不安でした。そんな私たちにとってASKの教材は例えて言うなら「未来問」のような気がしました。

一番はじめに提出した添削課題の国語の添削で「これまで見たことのないような素晴らしい答案・・・」というおほめの言葉を頂き、自信満々で講座をスタートさせることができました。もちろん添削は、とても丁寧に分かりやすいものでした。公開模試の合否判定では良くて45%だった青学でしたが、ASKの即応模試では80~90%の判定。さらに直前の添削でもA判定でした。正直「本当なのかしら?」「女子に関しては判定が甘いんじゃないかしら?」と思いつつも、本人はASKの判定に自信をいただき、本番に臨むことができたのではないのでしょうか。

これから受験をされる方へのアドバイスとして言えることは「模試(大手)の結果をあまり気にせず、落ちこむひまがあったら、行きたい学校の対策をしっかりやること」「本番では、自分を信じて120%の力を出すぞ!という気力で臨む」この2つです。頑張ってください。

◆ 絶対に合格して、喜びを味わうぞ〜!

◇Eさん◇

[ご本人] 憧れの青山学院中部部にみごと合格することができました。私をサポートして下さった皆さん、本当にありがとうございました。

入試当日は、とにかく、きちんと問題が解けるかどうか、不安でいっぱいでした。しかし、ASKで問題に慣れておいたおかげで、時間的にも余裕ができ、何度も見直しをすることもできました。

そして次の日の合格発表は、ドキドキがおさまらず、不安でいっぱいでした。私の番号があったときには「私、合格したんだー!信じられない!!」という気持ちでいっぱいでした。このときの喜びは一生忘れることはないと思います。ですから、これから、青山学院を受験する皆さんも「絶対に合格して、喜

びを味わうぞー!」という、気持ちを強く持って、頑張ってください。

[お母様] 市販の過去問の練習だけでは、分量に不安がありましたので、御社の教材は大変役立ちました。先生方の丁寧な添削指導にも感謝致しております。「雪の日」の合格発表は私にとっても忘れられない宝物となりました。

◆ 最後まで青学第一志望を貫き通しました!

◇Kさん◇

受験勉強を始めた当初(小5の一学期)の娘の実力は、青学なんて夢のまた夢、といったものでした。なかなか成績も伸びず、志望校の変更も考えましたが、娘の強い希望で、最後まで青学第一志望を貫くことに決めたのが小6夏期講習終了後でした。

そんな折、説明会で手にしたのがASKのパンフレット。娘も是非やってみようというので、申し込みをさせていただきました。通っている塾では青学対策はやっていただけなかったもので、貴社の教材や指導だけが、娘にとっては青学へのモチベーションを高めていく唯一のものだったようです。先生方のメッセージを真剣に読み返していた娘の姿が印象的でした。短い間でしたが、本当にお世話になりました。

◆ 心が通い合う、温かい添削指導に感謝します

◇Tさん◇

学校説明会で、来年度も出題傾向が変わらないことを確認してからは、過去問をていねいに解き、手持ちの問題集からも類似問題をピックアップ(算数の図形・角度の問題など)して、いろいろな方向から考えられるよう、頭の中に青学の出題パターンの引き出しをたくさん作るつもりで、訓練をさせました。

そういう意味でも、貴社の添削問題は、傾向もそっくりで歯ごたえのある問題が多く、役立ちました。そして、間違えた問題については添削内容をていねいに読み返し、もう一度再チャレンジして、自分の力につなげていくよう心がけました。

入試直前に送られてきた「応援メッセージ」は緊張気味の子供にとって緊張を勇気に変えられる大きな力となったようです。

青学入試を終え、教室から出てきた子供の開口一番は「全部の力を出し切った」でした。その言葉に、結果はどうであれ、悔いは無いという満足感を一緒に感じたものでした。その上、合格という結果を頂き、二重の喜びでした。

この講座は、担当の先生方のお顔を一度も拝見することなく終了する添削指導でしたが、添削内容や、子供に対する言葉かけなどから、心が通い合う、何か温かいものを感じることができましたことを、深く感謝いたしております。ありがとうございました。

合格体験記

さあ君も先輩たちに続け！

ASK
先輩達からの合格メッセージ

青学合格プログラムASKで学習されて、青山学院中等部に合格された皆さんから寄せられたメッセージの一部をご紹介します。

ただし、メッセージの中には様々な個人情報が含まれております。それらの個人情報を慎重に取り扱う関係上、お名前、ご住所等の掲載は省略させていただきました。

さあ、次はあなたの出番です。ASKの先輩たちに続き、青学合格の栄冠に向かって突き進んでください。

青学進学研究会

AOGAKU SHINGAKU KENKYUKAI

◆ASKの詩の作者と同じ作者の問題が入試にも

◇Fさん◇

[ご本人] 青山学院は自分の目標でした。ぼくは国語が苦手を選択肢があまりできませんでしたが、最後に提出した答案が返ってきた時、6割を突破し、全体での合格率が90%以上だったのがとてもうれしかったです。また、ASKの詩の問題の作者が入試の時の詩の作者と同じ時には驚き、ASKをやっていた良かったと心から思いました。本当にありがとうございました。

[お母様] 第1志望校だったので、案内をもらってすぐ受講を決めました。塾と違い青山学院中の為の添削だったので、高い合格率が出たときに自信になり、当日気分よく受験できたようです。過去問と合わせてこちらの問題を解くことにより、パターンが身に付いたと思います。当日、入試の後、合格を確信している息子の様子を見て、受講して本当に良かったと思いました。ありがとうございました。

◆丁寧な添削指導をありがとうございました

◇Sさん◇

最初に問題(テキスト)一式が届いたときはもう少し量があってもいいのではないかと思います。でも、実際にすべてをこなそうとすると、ASK以外の学習スケジュールとの兼ね合いから、適当な量であるとわかりました。過去問とは違い、既に出題された問題ではないので、入試直前に解き直すには最適でした。また、算数・国語ともに丁寧に添削していただき、本当にありがとうございました。できればぴったりテストも添削していただければなお良いと思いました。

◆とても役に立った 国・社の添削模試

◇Tさん◇

お世話になりました。無事合格できました。どうもありがとうございました。添削がとても丁寧で大いに役立ちました。また、文系科目に不安のある息子には、国語と社会の添削模試は、とても役に立ちました。本人の‘追い込み’が遅く、即応模試をやるタイミングに気を使いました。年末年始にお休みがあった事がやや気になりました。お忙しいとは思いますが、受験生にはお正月はありません。正月も受付期間をもうけてはかがでしょうか。これからの受験生の方も最後まであきらめずにがんばってください。

◆すべての教材が青学にぴったりの問題ばかり

◇Kさん◇

受験ぎりぎりになって無理を言って申し込んだので、ご迷惑をかけてしまいました。そして添削の提出に期限があったことも気づかず送ってしまったのに、きちんと添削して返していただいた上、合格判定にも勇気づけられ、自信をつけて本番に臨むことができました。何かとご親切に対応していただき、有り難うございました。全てのテストが青学受験にぴったりの問題ばかりで、効率の良い練習をさせていただきました。

◆理科と算数のていねいな指導が役立ちました

◇Hさん◇

私はASKの先生の指導のおかげで、無事に青学に合格することができました。模試の結果より合格率が良かったのも、はげみになりましたが、これで安心してはいけなそうと思、先生からのメッセージに沿って気を抜かず勉強を続けました。

苦手科目の理科は、先生の添削のていねいな解説で、分からなかった箇所もグッと減り、算数も順を追った分かりやすい指導がとっても良かったと思っています。

青学合格に導いて下さってありがとうございました。

◆たとえ前の教科ができなくてもあせらず気にせず

◇Kさん◇

ASKでは特に算数がとても役立ちました。本番でも解答用紙の欄や問題形式がそのままASKの算数でいつものリハーサルテストのような気持ちで落ち着いて解くことができました。しかし、本番で国語が自分の中では全くできず、すこしあせってしまいました。でも次の教科の算数、社会、理科では落ち着いて解けたので、合格を勝ち取れたのかもしれない。なので、たとえ前の教科ができなくてもあせらず気にせず次の教科に取り組みましょう。

そして試験が終わりに帰ったらぼくは「国語ができなかったから絶対に落ちている」とずっと言っていました。そして次の日、失神しそうな中、結果発表を見たら…かすかにぼくの番号が見える…。近づいて見てみると確かにぼくの番号と確認できたのです。受かったのです。その喜びと言ったらもう忘れられません。なので、例え1つの教科ができていようが無かるうが、そのことは気にしないで気持ちを切り換えることが大切です。受験生！ファイト！！

◆母親の直感で決断しました。

◇Mさん◇

パンフレットをいただいたときには、本当に悩みました。塾の宿題もテストの見直しも、山が盛り上がるようにおおいかぶさってきていました。この上添削なんて。でもここまで青学ひとすじに頑張ってきたので、何とか受からせてあげたい。できることはすべてやらせたい。ここで母親の直感で決断しました。

おそろおそろ娘に言ってみると、意外にも二つ返事で、「やってみよう！」そこからさらに過酷な日々を過ごしましたが、こちらの添削については楽しみなくらいに元気にやっています。やはり自分が受ける学校の問題だと力が出てくるようです。

やり切れるかという不安を娘はふりきってくれました。課題の学習と添削を終えたときはまさに入試直前でしたが、青学の対策をやり終えたという安心感は、親子ともに大きな力をもたらしました。試験は本当にぎりぎりの合格点だったと思います。が、気持ちは負けないものを持って入試会場に出かけることができました。こうして合格の喜びをお伝えできるのも、一生懸命に添削を書き込んで下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。